

# チップパー利用ガイド

2024.1.10

## 1) チップパーの管理

チップパーは（公財）松戸みどりと花の基金が来入した粉碎機で 金ケ育苗圃に保管してあり、里やま団体等からの依頼により貸出(運搬・作業指導)している。

里やま応援団事務局で各団体からの貸出し要請を受付、日程調整の上 日時を決定

雨天・荒天は中止・延期、処分材が濡れていると排出トラブルになるため中止・延期。

事務局に 申請・問合せを行い、地図を送信ください。場所の下見確認を行います。

申請書と報告書は事務局の指示に従って提出ください。

## 2) 作業関係

育苗圃で軽トラにチップパーを積み込み、2名で現地に伺う(竹内さん・小高さん)

9時頃の出発予定なので道路事情により到着時間が異なる。

団体のミーティングなどにより開始時間が遅れる場合は 事前に連絡ください。

森の入口内でチップパーを降し、自走式なので作業場まで移動、通路は 1.2mを確保、水平地に設置して、作業場はチップ排出を考慮して広めが望ましい。

粉碎チップは山積み排出 or ガーデンバッグ(2 バッグ持参) へ受けて搬出もできる。

処分材は チップパーに投入しやすいように集積しておく

投入しやすいようにリレー式 人海戦術で効率よく作業する。

投入口は騒音が大きいので耳栓・ゴーグルが必要。

投入者は10～15分くらいで 作業ローテーションで交代すること。

投入口で処分材をたくさん詰込み過ぎないよう作業、材の太い方から投入。

投入口は一番危険なところなので、手を入れ過ぎず 処分材が暴れないよう注意。

投入者は首から下げるバッグや飾りを身に付けないこと。

\*竹内さん・小高さんの注意指示に従って 安全作業を行うこと

緊急ボタンは 危険な場合に押すと止まるが 勝手に押さないように！

チップパーの「そばや周り」では 別の作業を行わないこと

## 3) 粉碎できる処分材

竹の葉は濡れに注意、土に埋まっている材を掘り出す場合は 特に乾燥に配慮すること。

湿った古い材を投入すると故障の原因になる

剪定枝は直径 12 cmまで粉碎可能、異形の材、クギ等が付いている材木はNG

太いモウソウチクは割って投入、長尺の竹葉付き、マダケ・ハチクは長尺でもよい

\*草は投入しない、特にツル草は刃に絡まり 故障の原因になる。

竹の枝葉とつる草を一緒に投入は禁止。

## 4) その他注意事項

- ①作業員の労力・機械の過熱を考慮して30～40分で小休憩をとり、安全配慮のこと。
- ②作業時間は9時30分～12時としており、中間点で燃料補給を行う。
- ③み花基金と育苗圃で行事などがある場合、7月後半から8月末までの猛暑期間はチップパー予定を外します。月間2～3回の実施予定
- ④燃料代(ガソリン)は原則として使用団体負担としている。
- ⑤近隣に対して 騒音とチップパー粉の飛散など 事前通知を行うとよい。
- ⑥風の強い時のチップパー粉の飛散防止対策を検討する。